

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

読者の皆様には日頃より本誌をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

# ご挨拶

日本バルカー工業株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO

瀧澤 利一



当社グループを取り巻く環境は、依然として深刻な世界的景気後退の影響を受けているものの、一部には持ち直しの動きも見られます。しかし、円高、デフレ等二番底の懸念もまたぬぐいきれない、厳しい環境下にあるものと認識しております。

こうした中で、当社グループは昨年スタートした第5次中期経営計画“NV・S5”の諸戦略に基づいて、従来の市場を軸とする事業部体制から製品を軸とする事業部体制に改組、また、海外事業のさらなる強化、生産技術の革新などの変革を実施いたしました。

研究開発部門におきましては、次なる成長に向けての基盤再構築の要として「攻め」の姿勢を継続し、一層の業務のスピードアップを図っております。今後の成長が期待される中国におきましては、現地の顧客ニーズにスピーディーに対応するため、従来の中国シール研究所に加え、新たに中国機能製品研究所を設立いたしました。

新技術といしましては、顧客の利便性向上のため、ふつ素系ガスケットの長期特性予測技術を世界に先駆けて構築した他、飛躍的な伸びが見込まれる高周波帯通信向けに、新規の受信アンテナ材料を開発いたしております。

バルカーグループは、社名の由来である基本理念“Value & Quality”を源泉とし、すべての行動の基軸となる理念“The Valqua Way”を着実に実践し、「R&Dはイノベーションと市場の密結合」であるとの信念の下「環境にやさしいモノづくり」、そして「顧客感動の提供」を実現すべく努力してまいります。

最後になりましたが、今後ともなお一層のお引き立てを賜りますようお願いいたしますとともに、読者の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。